

R 8 年度 高松市立庵治小学校 体力向上プラン

【学校教育目標】

「自ら考え、豊かな人間性と実践力のあるたくましい子どもの育成」
めざす児童像 ～ゆたかな子 たくましい子 かんがえる子 みがきあう子～

【本校の現状と課題】

- ・ 「新体力テストの数値分析の結果（R 7 年度）」より
 - 新体力テストにおいて、男子は 20m シャトルランとソフトボール投げの記録が県平均を上回る学年が多い。
 - 男子は上体起こし、反復横跳び、50m 走、女子は上体起こし、長座体前屈、50m 走、立ち幅跳び、20m シャトルランの学校平均記録が県平均を下回っている学年が多い。
- ・ 児童の実態より
 - 多くの児童が休み時間等に応い運動場で、サッカー・ドッジボール・鬼ごっこなどをして、屋外でしっかり遊ぶことができているが、屋内で過ごすことを好む児童も一定数いるため、積極的な外遊びを推奨していく必要がある。

【取組み】

遊具等の活用

- ・ 竹馬、ホッピング、一輪車、遊具などに体育の授業や休み時間を利用してチャレンジし、達成できた技記録する。

なわとび

- ・ 学級やふれあい班で目標回数達成に向けてチャレンジする。目標を達成できた学級やふれあい班は表彰する。

外遊びの奨励

- ・ 業間や昼休みの外遊びを奨励し、運動機会を確保する。また、雨天時には、学年順に輪番で体育館を使用できるようにする。

【目標】

- ・ 「新体力テストの数値における目標」
 - 男女とも、上体起こし、50m 走、20m シャトルランにおいて県平均を上回る学年数を3学年以上にする。
 - 新体力テストの総合評価の人数 $\{(A+B) - (D+E)\}$ の数値がプラス値の学年数を男女とも3学年以上にする
- ・ 運動に対する意識・運動習慣における目標
 - 外遊びが好きで、進んで体力づくりをするたくましい児童を育成する。